



平成23年11月9日

各 位

上場会社名 クレアホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 黒田 高史
 (コード番号 1757)
 問合せ先責任者 取締役 岩崎 智彦
 (TEL 03-5775-2100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	184	△138	△147	△167	△0.10
今回修正予想(B)	175	△172	△177	△222	△0.14
増減額(B-A)	△8	△33	△30	△55	
増減率(%)	△4.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	246	△233	△281	△330	△0.71

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	409	△252	△270	△310	△0.19
今回修正予想(B)	400	△286	△300	△365	△0.22
増減額(B-A)	△8	△33	△30	△55	
増減率(%)	△2.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	382	△450	△626	△592	△0.87

修正の理由

当社グループは、継続的な営業損失を改善すべく、採算性を重視した受注確保と既存セグメント内で行える範囲での新規事業の開拓・強化が国内事業の黒字化に向けた重要課題であるとして活動して参りました。その一環として、当第2四半期連結会計期間において太陽光発電システム事業、東日本大震災被害により当社グループが行える建設事業の範囲としてプレハブ住宅建設、瓦礫撤去を計画いたしました。これら事業を開始するための初期費用として、プレハブ住宅建設においては2,181千円、瓦礫撤去においては1,504千円を支出しております。

当社は、株式会社スクエアコンサルティングとの係争が進行中であり、当社は原告の主張を不服とし、当該係争において当社の主張を通すべく前連結会計年度までの担当弁護士を変更、関与弁護士を増員しております。

そのため、弁護士報酬費用が9,668千円の増額となりました。

当社グループは、コンプライアンスの充実を図るため、当連結累計期間において弁護士報酬費用を3,050千円、税理士法人報酬費用を1,300千円、当連結累計期間において支出しております。

上記要因のため、当初計画した業績予想の営業損失を増加いたしました。

また、平成23年8月8日に開示いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の、当社子会社が保有する固定資産の一部(投資用建物及びその敷地)について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損の兆候が生じていると判断し、減損損失として33,570千円の計上をしたことにより、当初計画した業績予想の四半期純損失を増加いたしました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上